

平成29年度第1回国立岩手山青少年交流の家施設業務運営委員会議事要旨

日時 平成29年 7月19日(水) 13:00~14:30
場所 国立岩手山青少年交流の家 第1研修室

出席者 〈施設業務運営委員〉

浅沼道成	岩手大学 人文社会科学部 教授
岩渕健一	岩手県立盛岡農業高等学校 校長
大石泰夫	盛岡大学 文学部 教授
菊池啓子	岩手県立陸中海岸青少年の家 所長
熊谷雅英	滝沢市教育委員会 教育長
佐々木由紀子	滝沢市立一本木小学校 校長
中田善英〈代理〉	秋田県教育庁 生涯学習課 社会教育主事
武田美紀〈代理〉	滝沢市子ども会育成連合会 副会長
高橋繁雄	一般社団法人岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会 理事
武田敏哉	(株)IBC岩手放送 取締役 放送本部長兼編成局長
田村忠一	盛岡市立大宮中学校 ※岩手県中学校長会 常任理事
加藤純一〈代理〉	宮城県教育庁 生涯学習課 社会教育主事
横澤繁一	岩手県レクリエーション協会 理事長
平山健一〈代理〉	青森県教育庁 生涯学習課 社会教育主事

欠席者 佐藤公一 岩手県教育委員会 生涯学習文化財課 総括課長
野場秀輝 岩手県PTA連合会 副会長
波柴裕司 一般社団法人盛岡市青年会議所 理事長
吉田幸司 八戸市教育委員会 教育部長

〈職員〉

松田所長、佐々木次長、東主幹兼総務係長兼管理係長、鎌田主任企画指導専門職、佐々木副主任企画指導専門職、工藤企画指導専門職、上村企画指導専門職、中村企画指導専門職、田口事業推進係長、小綿管理係主任、藤根事業推進係主任、三浦総務係員、成田管理係員

1 挨拶(所長)

2 日程・資料の確認(次長)

3 施設業務運営委員及び職員の紹介

4 委員長・副委員長の確認

事務局から、昨年度に引き続き大石委員を委員長としたい旨の提案があり、これを了承した。委員長から熊谷委員を副委員長としたい提案があり、これを了承した。

5 「新しい公共」の管理運営について

次長から資料に基づき、施設業務運営委員会の下部組織として少数の委員及び各機関の実務担当者で構成される各部会を設置し、機動力を高めて連携し企画立案を行っていきたい旨の提案があった。今年度においては、各部会の構成員を選任するため委員長と交流の家から各委員へ調整依頼をし、来年度から本格的に運営していききたいとの付言があり、これを了承した。

委員から各部会を設置するにあたり、①なぜ設置する必要があるのか、②どのように企画立案していくのか、③実務担当者の選任においてある程度の方向性を示してほしいとの確認があった。委員長、次長から以下のとおり説明があった。①について、当委員会のような大きい規模では企画等を検討するには難しいため、少数精鋭で機動力を高めて企画立案することを設置のねらいとしている。②について、ゼロベースから各機関協働でどのような事業ができるか検討をしていきたいと考えている。③について、担当者を選任するよう依頼文を出すのみでなく、事前に検討事項等の方向性を各委員に伝えてから、選任の依頼をしたいと考えている。

6 国立岩手山青少年交流の家の運営状況説明等

①平成28年度の運営状況説明

- 1) 「テンパークちゃれんじくらぶ」及び「体験活動支援セミナー」、「スキー体験 in テンパーク」の成果等について、企画指導専門職から説明を行った。
- 2) 昨年度1年間の利用者数・満足度などについて、事業推進係長から説明を行った。利用者数が過去5年において最高であるが、宿泊者数に限っては最低であり、宿泊利用者の確保が課題であるとの付言があった。
- 3) 法人ボランティアの登録者数・活動状況などについて企画指導専門職から説明を行った。

②平成29年度の運営状況・計画等説明

- 1) 今年度の事業方針の概要について、次長から説明を行った。
 - 2) 「さんりく体験！発見隊」、「タートルズキャンプ」、「親子deわくわくキャンプ」等の教育事業計画について、企画指導専門職から説明を行った。
- ※予定時間を大幅に超過してしまったため、組織図、前年度決算等の説明は割愛

③協議

意見・質疑応答

委員長：始めに予定時刻を超過しており協議の時間を限らせていただくことをお詫び申し上げます。

委員：利用者アンケート結果について、何に対して満足・不満となったのか原因を分析しているか。

事業推進係長：利用者アンケートについて、窓口対応や広報、食堂等の項目からなる総合的な満足度を伺っており、その内容について月1回程度職員で検討を重ねている。アンケートに書かれた要望に対する改善点は所内に掲示し、利用者に対しても周知している。

委員：本校で利用した際、教員・生徒共に満足度が高いと感じられる。学校に対する利用促進を図るには、提供プログラムの多様性や柔軟な時間設定が可能な点などを周知することによって、学校側の選択肢が広がっていくのではないかと考える。

委員長：本件について、アンケートの様式を資料につけてもらえればさらに具体的に検討することができるので、工夫していただきたい。

本会議において説明された平成29年度の計画等について、委員の意見を取り入れた上で、所に一任して実施していきたい旨が委員長から提案され、承認された。

併せて十分な審議の時間を確保するため、事業報告等の説明を工夫するよう委員長から依頼があり、改善することとした。

以上